（別添２）

【南城市教育委員会】
ネットワーク整備計画

１．必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（%）

令和６年度７月時点における南城市立小中学校でのネットワークアセスメント調査の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和６年４月）を超える学校数は０校であり、総学校数に占める割合は０%である。

２．必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（１）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

南城市においては、市内小中学校における校内ネットワークの設計及び構築を委託する事業者と連携し、令和６年７月および令和７年５月にネットワーク速度の現地調査を実施した。その結果、文部科学省が推奨する帯域に満たない状況であった学校について、校内の無線アクセスポイントの更改により通信環境の改善効果を確認するとともに、新たな課題の特定を完了した。

今後は、ネットワーク保守委託事業者等と連携し、各学校の通信状態の監視を継続的に行いながら、ネットワーク上位階層の機器の更改やプロバイダ契約の見直し等を検討し、通信環境の改善を進めていく。

（２）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワークアセスメントの結果を踏まえ、令和７年度に校内の無線アクセスポイントの更改を実施した。令和８年度以降の更なる改善に向け、ネットワーク上位階層の機器の更改やプロバイダ契約の見直し等を検討し、通信環境の改善を進めていく。

（３）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

これまでのネットワークアセスメント結果および機器更改を踏まえ、改めてネットワークアセスメント調査を実施し、必要に応じて校内のネットワーク上位階層の機器の更改等、通信環境の改善に向けて検討を進めていく。また、現在の契約回線は、学校所在地の地理的条件下における回線利用率や混雑状況が大きく影響している可能性があるため、回線増強等による帯域確保や品質向上に取り組む。